



Sennheiser Group、2024 NAMM Show に多彩なオーディオソリューションを出展

2つのダイナミックデモルームで Sennheiser や Neumann、Dear Reality、Merging Technologies の最新ソリューションを体験する機会を来場者に提供

ヴェーデマルク／アナハイム、2024年1月17日－今年の NAMM Show に対する期待が高まるなか、Sennheiser Group は2つのデモスペースで最新のオーディオソリューションを出展することを発表いたしました。来場者の方々は Sennheiser Group ライブルーム (# 18806) およびイマーシブデモルーム (# 18808) において、Sennheiser や Neumann、Dear Reality、Merging Technologies の最新のオーディオソリューションを空前のスケールでご体験いただけます。また、業界を代表するエキスパートの方々をお招きし、各種セミナーやパネルディスカッションも開催する予定です。

Sennheiser Group ライブルーム (# 18806) では、Sennheiser と Neumann の豊かな歴史をご紹介。展示の目玉としてプロフェッショナルスタジオ部門の最新製品がヴェールを脱ぎ、来場者の皆様にとっては、文字通り世界で初めて本製品に直に触れる稀有な機会となります。

プロ仕様のワイヤレス製品（写真は EW-DX シリーズのトランスミッターとレシーバー）に加え、新しいスタジオ製品もヴェールを脱ぎます



また、デモルームのワイヤレスコーナーでは Evolution Wireless Digital のワイヤレスマイクシリーズ、Digital 6000 ワイヤレスマイク、XS Wireless IEM、evolution wireless G4 IEM システムを展示します。



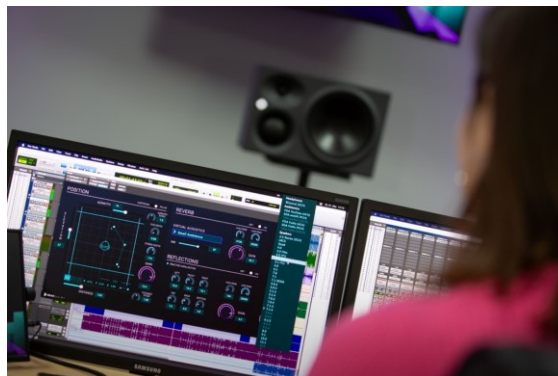
防音室の「ウイisper・ルーム」では、厳選した **Neumann** マイクロフォンのデモを予定。
Neumann は 3 種類の新製品を発表するほか、MT 48 オーディオインターフェースについて、イマーシブオーディオとの連動をはじめとする待望の機能アップデートもご紹介します。もう一つの目玉となるのがライブサウンドで、ミニチュアクリップマイク（MCM）システム用のオムニカプセルに加え、長さの異なるグースネックマイクも展示。さらに、ワイヤレスシステム用の人気のボコーカルクプセルシリーズでも待望の新製品を披露します。



Neumann MT 48 オーディオインターフェースは新たな機能が加わり、イマーシブオーディオとの連動が可能になります

2 つのイマーシブワークステーションでは、イマーシブワークフローを実体験していただけます。1 つ目のワークステーションでは空間オーディオエキスパートである **Dear Reality** が、人気の dearVR PRO イマーシブスペーシャライザープラグインの後継版となる dearVR PRO 2 をご紹介。新しいプラグインは、あらゆるプロフェッショナルなオーディオ制作現場において、3D 空間体験に新たなレイヤーを追加し、リスナーをサウンドの中心に置くことを可能にします。

Dear Reality は、人気の dearVR PRO イマーシブスペーシャライザープラグインの後継版となる、dearVR PRO 2 を出展



また、Dear Reality の dearVR SPATIAL CONNECT を用いた VR で DAW もお試しいただけます。dearVR MONITOR ミックスルームプラグインを使った、ヘッドフォンでの空間オーディオミックスのモニタリングもお楽しみください。



2つ目のイマーシブワークステーションでは、**Merging Technologies** のオーディオインターフェースを出展します。ここでの目玉は、Anubis オーディオインターフェース用の Venue Mission ソフトウェア。ライブミュージシャンやサウンドエンジニアのワークフローに革命を起こす、16チャンネルミキサーを備えた直感的なユーザーインターフェースで、オーディオエコシステム全体を完璧に制御することを可能にします。



Merging Technologies は Venue Mission ソフトウェアと、ミュージシャン向けのパーソナルミックスを展示

製品デモのほかにも、Sennheiser Group ライブルームでは業界の著名人によるセミナーを毎日開催。モニターエンジニアの Salim Akram 氏、グラミー賞&エミー賞受賞ブロードキャストオーディオプロデューサー&ミキサーの Michael Abbott 氏、ミキシングデザイナーの Brandon Blackwell 氏、Sennheiser の Jimmy Landry、音楽プロデューサーの Mark Needham 氏と Daniel Rowland 氏が、ライブオーディオデザインや音楽制作における AI の役割など多種多様なトピックについて語ります。音楽業界のトップクリエイターを招いてのパネルディスカッションでは、Sean Daniel (@sean_daniel_music)、Steve Onotera (@samuraiguitarist)、John Matos (@abioticjohn)、Emily Harris (@GetOffset)、Larry Orsini (@larryohh) (敬称略) が参加するほか、クロージングセッションではブレイク・シェルトンのドラマーのトレイシー・ブロッサードが NAMM Show でのエクスペリエンスにさらに華を添えます。

イマーシブデモルーム (# 18808) では、Neumann KH モニターと Merging Technologies の Anubis および Hapi MK II オーディオインターフェースを組み合わせ、9.1.6&360 RA イマーシブサウンドセットアップをお試しいただけます。Neumann Soundstage では、Ronald Prent、Eva Reistad、Matt Wallace、Will Kennedy、Elliot Scheiner、Gavin Lurssen、Reuben Cohen、Michael Romanowski、Jimmy Douglass、Chuck Ainlay、George Massenburg、Jim Anderson、Ulrike Schwarz、Eric Schilling、Herbert Wautl、Frank Filipetti、Sylvia Massey、Justin Gray (敬称略) といった著名音楽プロデューサーならびにエンジニアによるマスタークラスを開催します。



Sennheiser 米国販売部長を務める Ed Capp は次のように述べています。「今年の NAMM Show では業界の新星とコラボし、彼らの専門知識を来場者の皆様と共有できるということで大変嬉しく思います。Sennheiser Group の最新のスタジオ製品を披露し、人気ソリューションを厳選してご紹介する、刺激的なイベントになるでしょう。製品はすべて、来場者の皆様にお試しいただけます。デモルーム 18806 と 18808 にぜひお越しいただき、忘れがたいオーディオエクスペリエンスをお楽しみください」

NAMM Show ではぜひ、Sennheiser Group ライブルーム（18806）とイマーシブデモルーム（18808）にお立ち寄りください。

本プレスリリースの高解像度写真は[こちら](#)でダウンロードいただけます。

Sennheiser Group について

カスタマーのためにオーディオの未来をかたちづくり、独自のサウンド体験を生み出す—これこそが、世界中の Sennheiser Group の従業員をひとつにまとめている究極のゴールです。

Sennheiser は独立系のファミリー企業として、1945 年に創業。現在は経営家の第 3 代に当たる Dr. Andreas Sennheiser と Daniel Sennheiser が CEO を務め、プロフェッショナルオーディオテクノロジーの分野で世界有数のメーカーとして製品を提供しています。

sennheiser.com | neumann.com | dear-reality.com | merging.com

当プレスリリースに関するお問い合わせ

ゼンハイザージャパン株式会社

永富

teruishi.nagatomi@sennheiser.com

+81 364068911

株式会社ブレインズ・カンパニー

中村

sennheiser@pjbc.co.jp

+81 345809156